

# チャンスボール

## 1 チャンスボールとは

長野県の下諏訪町の体育指導委員より考案されました。現在は、室内でできる手軽なスポーツとして県内へ広まる中、愛好者が急増しているゲームの1つです。このゲームはスティックとボール(赤白)を使用して打撃ライン(3m, 4m, 5m)から得点ゾーンに入れて合計得点を競います。打撃ラインは近い方が有利なのでハンディの意味をもっており、対戦相手との差をつける必要がある場合に距離差をつけて対等に近づけることができます。又、一度に1人対1人～10人対10人までゲームに参加出来ます。

セット チーム	1	2	3	4	5	計

各チームの最終打者は、打撃ラインではなく得点ゾーンの近くのチャンスラインから打つことができ、逆転のチャンスが与えられることがゲームの特徴です。

## 2 用具

- ・スティック (マレットゴルフまたはゲートボール用) 4本程度
- ・ボール (赤 10球、白 10球)
- ・シート (市販の人工芝シートへ白マジック・ペンキ等で描いたもの。グラウンド等へ描いてもよい。) …図1参照
- ・得点表…野球型5回戦用紙(右上図)
- ・メンバー表…10人用(右図)

打順 チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

## 3 ゲームの進め方とルール

①先攻・後攻はジャンケンで決める。

2セットからは勝ったチームが先攻でボールを持ってチェンジコートする。

②1チーム10人以内でゲームに参加できる。

1人対1人	3人対3人	5人対5人	10人対10人
1人5球～10球	1人3球	1人2球	1人1球

③1セット中に3名までは1回に限り交代する事ができる。

退いた競技者はそのセットは再出場できない。

④打順は、先攻1番、後攻1番、先攻2番、後攻2番…の順番で交互に打撃ラインから打って、先攻最後の打者、後攻最後の打者各1人はチャンスラインから打つ。

⑤シート内のボールは自チーム・他チームのボールに当て、得点ゾーンに入れたり、シートの外に出すこともできる。シート外に出たボールは、OB扱いでプレーからははずす。なお、空振りや打ち直すことができる。

⑥全員が打球を終わったら、得点を合計する。

一勝一敗一分の場合は、総合得点の多いチームが勝ちとする。

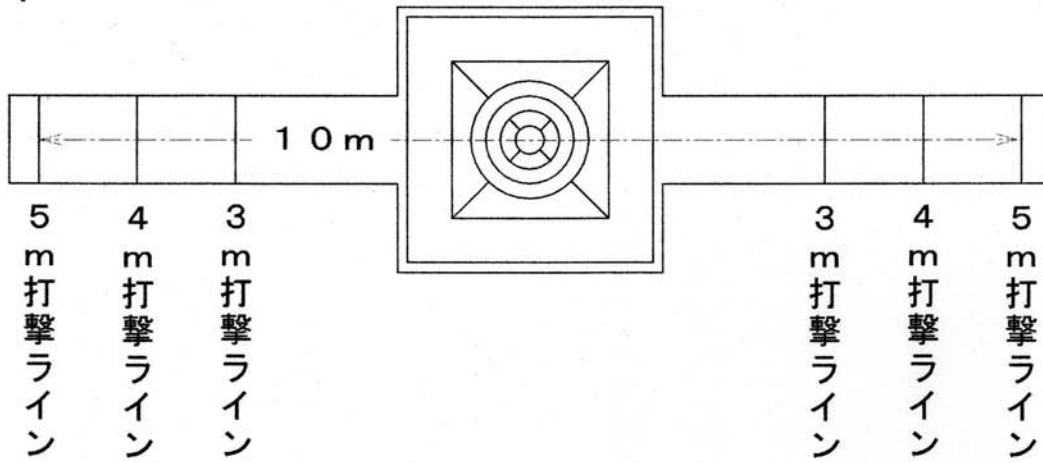
⑦ボールが得点ライン上にある場合は、得点の多いほうをとる。

⑧人数・セット・打撃ラインは、事前に決める。

⑨相手ボールが止まってから、最終打者は60秒以内、その他の打者は20秒以内に打つ。



図 1



(中心部分拡大)

チャンスライン

